

## 平成23年度今池まつり事業報告書

- 【日時】 平成23年9月18日(日)～19日(月)
- 【場所】 名古屋市千種区今池 今池商店街
- 【内容】 木曽地域の特産品の通信販売等を通じて様々な交流を図っている「木曽川流域民みん・みんの会」の事務所所在地である今池商店街の「今池まつり」に参加しました。主目的を木曽地域の特産品販売と情報発信に絞り込み、朝採り新鮮野菜等を販売しました。両日とも好天に恵まれ気温、湿度共に高く、イベント開始時間前から多くの来場者で大変賑わっており、木祖村と木曽町から持込んだ朝採り野菜は午前中にほとんどの商品が完売してしまう程盛況でした。飲むヨーグルトと水のペットボトルの販売は、昨年の反省から冷蔵庫を借りて対応したため順調に売れ完売しました。2日目の天気予報が雨だったためトウモロコシやヨーグルトの仕入れ量をどうするか最後まで悩み、結果的に2日目のトウモロコシが早々に売り切れてしまい、仕入れ量をもう少し増やすべきでした。この他に名古屋生活クラブで販売実績のある水、味噌、ひのき製品に加え郡内の障害者作業所で製作しているひのきの間伐材を使ったマウスパットやペーパークラフトの籠なども販売しましたが、こちらは宣伝や商品説明が行き届かず売上の面では今一つでした。(特産品売上：79,130円) また、みん・みんの会のメンバーが商品販売等を手伝ってくれましたが、商品に対する知識が不足しており、スタッフの事前ミーティングの必要性を感じました。
- 「木曽川流域民みん・みんの会」関連のブース内では、自立支援を目指す障害者や応援をしている支援員等によるたこ焼き等の販売や自ら作ったパンの販売に加え、東日本大震災の復興支援物資の販売なども展開していました。
- 名古屋市内の商店街のお祭りの中で木曽地域の魅力や情報発信を効率的に図るためには、五平餅や木曽牛コロッケなどの販売がより有効かと思いますが、スペース的な問題もあり今後の検討課題です。
- 観光宣伝の面では、木曽路の観光宣伝用DVDや季刊誌「木曽路」秋号を活用し実施しましたが、市民の皆さんが足を止めたりパンフレットを持ち帰るなど一定の効果が得られました。





